

令和7年度予算(案)から見る 都心3区のゼロカーボンへの取り組み

ゼロカーボンシティ中央区宣言

この地球が**かつて経験したことの無い速さ**で進む温暖化
海の水が増え 多くの動植物が**すみか**を失い
自然災害が**猛威**を振るう
わたしたちは日々のくらしや命さえも**おびやかされる危機**に
直面しているのです
残された時間は**多くありません**
今こそ行動をおこすときです
未来ある子どもたちを**想い**
命ある**すべてのものを慈しみ**
みどりあふれる**豊かな地球**を次の世代につなぐため
2050年までに**二酸化炭素排出量実質ゼロ**を目指すことを
中央区は今ここに**宣言**します
2021年3月30日

都心3区(千代田区、中央区、港区)では、ゼロカーボン社会の実現に向けて、環境負荷の低減やエネルギー効率向上への様々な取り組みが行われています。本号では、都心3区の令和7年度予算(案)に計上されている取り組みについてご紹介します。予算成立後、主に中小ビルを対象とした助成金等へと展開されていきますので、設備改修等を計画される際のご参考として、令和6年度の制度・内容も併せてご紹介します。(出典・各区HP)

【千代田区】 令和7年度 重点的に取り組む施策 「持続的に発展するまちづくり」

■「千代田区令和7年度当初予算(案)」(2025.2.14 公表)より 「2050 ゼロカーボンちよだ」の実現

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/documents/11172/r7yosanan.pdf>

3 持続的に発展するまちづくり

3-③ 「2050ゼロ・ウェイトちよだ」「2050ゼロカーボンちよだ」の実現

課題 現状から新たな地球温暖化対策が講じられない場合、区のCO₂排出量は増加が見込まれる

区におけるエネルギー起源CO₂排出量の現況と将来推計

2050年に区がめざすCO₂排出量のイメージ

区はCO₂排出量を2050年には実質ゼロとする
2050ゼロカーボンちよだをめざす

CO₂排出量を実質ゼロにしていくためには、エネルギー消費を削減するとともに
再生可能エネルギーを積極的に導入していくことが必要

3 持続的に発展するまちづくり

3-③ 「2050ゼロ・ウェイトちよだ」「2050ゼロカーボンちよだ」の実現

脱炭素の加速化に取り組みます。

取組み1 次世代型太陽電池活用に向けた検討を開始

5,401万円

太陽光や風力、水力などの自然資源を用いる再生可能エネルギーは、都心部では導入ポテンシャルが低いという課題がありました。そこで、ビルの壁面や窓ガラスにも設置できる次世代型ソーラーセル(ペロブスカイト太陽電池)等の実証実験を共同で実施する事業者を募集し、**都市型再生エネの導入の可能性に向けた検討**を行います。

取組み2 次世代型太陽電池活用に向けた検討を開始

債務負担

令和8年度までに区が管理する街路灯のうち、LED化されていない**約5,000基**をナトリウム灯からLED灯に変更します。

●CO₂排出量
約1,700 t ▶ 約650 t **△1,050 t削減**

※10年間のリース契約を予定しているため、LED灯への変更が完了する令和8年度から11年間は債務負担期間とする。

■(ご参考)令和6年度千代田区省エネルギー改修等助成制度

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/machizukuri/kankyo/hojo/sho-ene.html>

千代田区では、事業所ビル等で省エネルギー機器等への改修を行う際に、費用の一部を助成します。

*助成対象:東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)による省エネルギー診断結果に基づく設備改修(上限合計額:250万円)

○LED照明・人感センサー照明システム:対象経費の50パーセント

○太陽光発電システム・蓄電システム・窓断熱対策・空調・エネルギー管理システム(BEMS)・高効率型変圧器:対象経費の20パーセント

【中央区】令和7年度 重点分野「脱炭素社会の実現を目指す取り組み」

■基本計画 2023「リーディングプロジェクト」～ゼロカーボンシティプロジェクト

<https://www.city.chuo.lg.jp/a0001/kusei/kousoukeikaku/kihonkeikaku/kihonkeikaku2023.html#zerocarbon>

未来の子どもたちへ持続可能なまちをつなげていくためにも、都心区の特徴を踏まえ、カーボンニュートラルの実現に向けたあらゆる取組を推進していきます。

○主な取り組み:建物建築における ZEB 化の取組の徹底・ゼロカーボン機運の醸成

*「令和7年度中央区予算(案)概要」より(2025.2.6 公表)

https://www.city.chuo.lg.jp/documents/16917/r7_press.pdf

<ゼロカーボンシティ中央区宣言>

本区では、令和3年3月30日に2050年までに脱炭素社会の実現を目指す決意を示した「ゼロカーボンシティ中央区宣言」を表明しました。実現に向け、区民、事業者の皆さんと一丸となり、環境施策の一層の推進を図ってまいります。

<環境にやさしいまちづくり>環境負荷低減に向けた取り組み

【充実】中央エコアクト(中央区版二酸化炭素排出抑制システム)における取組特典の充実

➤ 中央エコアクトへの取組意欲を高め、継続した省エネ活動を推進するため、取組特典を充実

■(ご参考)令和6年度事業所用自然エネルギー・省エネルギー機器等導入費助成

https://www.city.chuo.lg.jp/a0036/machizukuri/bika/taisaku/kikijosei/ecojosei_jigyosho.html

中央区では、事業所から排出される二酸化炭素を削減するため、自然エネルギー機器や省エネルギー機器等の普及を進めています。

○自然エネルギー機器:太陽光発電システム:100,000円/kW(限度額1,000,000円)、蓄電池:10,000円/kW(限度額100,000円)

○省エネルギー機器等:導入費用の20%(限度額200,000円)

*中央エコアクト事業所用の特典を受けた事業所は、助成金額が増額されます。

【港区】令和7年度 重点施策「区民が安心して、いつまでも暮らし続けられる都市を実現する」

■「令和7年度当初予算案の概要」(2025.1.31 公表)より

先端技術を活用して省エネルギー化を推進するとともに、緑を守り、増やし、脱炭素化が加速するクリーンなまちを実現する取組

<https://www.city.minato.tokyo.jp/kuse/zaise/yosan/documents/r7gaiyounogaiyou.pdf>

*「令和7年度予算 新規事業及レベルアップ事業(要求段階)」より

<https://www.city.minato.tokyo.jp/zaisei/documents/00index.pdf>

<創エネルギー・省エネルギー機器等助成>

温室効果ガスの排出削減を引き続き加速できるよう、区民や事業者に対する省エネルギー機器(4項目)の助成率及び上限額の拡充をします。(219,822千円(71,268千円レベルアップ))

■(ご参考)令和6年度地球温暖化対策助成制度(中小企業者)

<https://www.city.minato.tokyo.jp/chikyukankyoku/joseikin/r5.html>

○太陽光発電システム:機器の最大出力数(kW)×15~20万円(最大150万円) ○事業所用高効率空調機器:設置に要する経費÷3(最大60万円) ○省エネルギー診断に基づく設備改修(事業者向けLED照明等):設置に要する経費÷4(最大100万円)等

千代田区、中央区、港区では、ビルオーナーや事業者が利用できる多くの助成金や支援策が整備されています。これらの支援を活用することで、エネルギーコストの削減やビルの資産価値向上が期待できるだけでなく、ゼロカーボン社会の実現にも寄与することができます。環境性能を高め、持続可能な運営を目指すため、ぜひこれらの助成金を活用した取り組みを今から検討してみたいはいかがでしょうか。

銀座・ビルエネルギー研究会事務局
〒104-0061
東京都新宿区新宿2丁目14番2号
東京電力エナジーパートナー株式会社
東京本部 営業総括グループ内
編集発行人 清水隆雄
TEL:050-3090-4261
<http://www.ginza-birueneken.com>